

質問順		第550回 令和8年9月定例会 一般質問通告一覧表				富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項		質問要旨		答弁者
1	6	川合 弘人	(1)	新井戸尻考古館の展示理念と文化財行政の将来像について	①	パブリックコメントを今後の新館づくりにどのように反映するのか。	町 長 教育長
					②	新館の展示理念は。「井戸尻らしさ」をどう具現化し、「おらあとうの考古学」をどう伝えるのか。	
					③	「縄文農耕論」と「縄文図像論」を新館でどのように展示し、継承・発展させるのか。	
					④	新館完成後の調査研究体制と専門的人材をどのように確保するのか。	
					⑤	学校教育、町民参加、地域活性化へどのようにつなげるのか。	
			(2)	小手沢用地の利活用に向けた条件整備と今後の進め方について	①	令和7年12月定例会の一般質問以降、現地確認や関係者との協議の有無も含め、町は小手沢用地の利活用についてどのような検討を行ってきたか。	町 長
					②	これまで利活用上の課題とされてきた進入路や周辺土地の権利関係について、町は現在どのように把握しているか。また、現在の状況を踏まえ、隣接地所有者や地元区との協議を始める考えはあるか。	
					③	小手沢用地について、接道条件、地形、上下水道、雨水排水、法令上の規制等を改めて調査し、現在の条件に基づいて活用可能性を検証する考えはあるか。	
					④	住宅団地としての利用に限定せず、福祉、防災、産業振興などの用地として、複数の土地利用の可能性を比較検討する考えはあるか。	
					⑤	地元区や周辺住民、関係土地所有者の意向を把握するとともに、庁内における検討体制を明確にし、必要に応じて民間事業者等の意見も取り入れながら、小手沢用地の利活用に向けた基本的な方向性や工程を示す考えはあるか。	
2	10	西 明子	(1)	聴覚障がい者、難聴者等へのサポートについて	①	難聴者補聴器購入助成事業の拡充の考えは	町長
					②	富士見町の聴覚障がい者の現状は	
					③	聴覚障がい者等への町的意思疎通支援の状況は	
			(2)	障がいの有無や母国語にかかわらず、すべての人が読書を楽しめる環境整備について	①	富士見町図書館での読書バリアフリーの取り組み事例は	町長 教育長
					②	読書バリアフリーコーナーへの理解や認知状況は	
					③	「読書バリアフリーコーナー」の設置、「デジとしよ信州」の周知のほか、今後の取り組みは	

3	5	牛山 吉彦	(1)	森林の整備・利活用促進について	①	R7.3月一般質問における「フォレスター(森林監理士)等の導入による森林整備を検討する」旨の経緯や進捗は。	町長
					②	現在進めている専門家による森林整備プランの進捗状況と今後の方針は。	
					③	協議会による森林整備計画の体制を見直すなど、仕組みやルールを変える必要があると考えるが、町の意向は。	
					④	森林整備と森林利活用は両輪として共に重要だと考えるが、町はどう捉えているのか。	
		(2)	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の具現化に向けて	①	各分科会のフラグシッププロジェクトの進捗状況(5/15委員会報告概要およびその後の進捗)と今後の方針は。	町長	
				②	「地域内循環・地域特性の活用」という当プロジェクトの根幹から、バイオマスの具現化は急務だが、町の意向は。		
				③	諏訪コンソーシアムや地域内エコシステムなど、近隣自治体との連携や情報交換は、バイオマスの具現化にどう寄与しているのか。		
4	9	高見 春香	(1)	森のオフィスの活用と可能性について	①	移住促進や関係人口拡大などの成果の現状と費用対効果をどう見ているか。	町長
					②	宿泊棟の売り上げを増やす取り組みは。	
					③	コワーキング会員と企業会員を増やす取り組みは。	
					④	キッチン会員を増やす取り組みは。	
		(2)	AIオンデマンドバス「のらぎあ」導入とスクールバスについて	①	「のらぎあ」の町外への接続の考えは。	町長 教育長	
				②	周知方法、使い方教室開催の考えは。		
				③	富士見駅への通勤通学や通院需要に対しスクールバスへの乗り合いの考えは。		
5	1	織田 昭雄	(1)	地球温暖化に伴う町内環境整備のあり方について	①	夏は猛暑による気温上昇、冬は温暖化により降雪の減少など確実に環境変化が進んでいる。こうした変化に対し、これまでと同様の環境整備では後手に回るケースが増えていく。必要に応じて草刈りや除雪など様々な基準の見直しを考える必要があると思うが、町の考えは。	町長
					②	県道敷地の草刈りは、かつては県の環境整備事業の予算で毎年行われて来たが、突然の廃止事業により、現在は地元ボランティアの善意に頼る状態である。しかし、地域の高齢化は確実に進み、急傾斜地の作業は高齢者にはとても危険である。町はこの件に対してどのような対策を講じているか、また、今後計画があるか伺いたい。	
					③	県は河川監視員を委嘱してパトロールを行っている。その結果を踏まえ、この一年間で県が行った河川敷の伐採や改良工事や熊出没予防対策などに対して、町はどの様に関わり、どの程度の実施成果があったと考えるか。	
					④	外来種植物の繁茂については、なかなか目に見える成果が得られないと感じている。住民参加のボランティアを募り組織的に撲滅活動を展開すべきではないか。町の考えは。	

6	4	佐久 祐司	(1)	森のオフィス・Livingの持続可能で透明性のある運営について	①	町が委託している業務の範囲と、委託料の算定根拠をどのように定めているか。	町長
					②	町の委託業務と運営事業者の独自事業を、どのように区分・管理を行なっているか。	
					③	運営に関わるディレクター、スタッフ及び地域おこし協力隊について、町の委託事業との区分及び業務管理をどのように行なっているか。	
					④	年間750万円の委託料について、その実績や成果をどのように評価し、妥当性を検証しているか。	
					⑤	利用料収入、運営経費、町からの委託料について、町民に分かりやすい形で収支を明らかにする考えはあるか。	
					⑥	開設から10年が経過する中、今後の運営形態について、業務委託の見直しや指定管理者制度の導入を含め、どのように検討しているか。	
7	2	山口 肇	(1)	平和教育について	①	同志社国際高校の沖縄県名護市辺野古での平和学習に対して、文部科学省が教育基本法違反と判断したことについて、町長はどう考えるか。	町長 教育長
					②	全国の学校や学校設置者に修学旅行の実態調査が実施された。町の回答内容は。	
					③	今回の文部科学省の対応を受け、富士見町の平和教育や平和学習に変更はあるか。	
			(2)	富士見町地域福祉計画の見直しについて	①	福祉計画見直しに向けて実施された「住民アンケート」の回答状況は。	町長
					②	障がい者支援施設に業務委託をしたデータ入力作業の進捗状況は。	
					③	町は「障害者優先調達推進法」に基づき、障がい者就労施設等からの物品等の調達方針を定め障がい者支援を実施している。今年度は新たに業務委託という障がい者支援が実施された。今後の支援施策の予定は。	
			(3)	国民健康保険について	①	収支報告によると、1億5000万円近い繰越金が見込まれている。この高額な繰越金の活用をどのように考えているか。	町長
					②	国民健康保険特別会計では、基金として3000万円が積み立てられている。基金積み立て額を増額する予定は。	
					③	増加傾向にある国民健康保険滞納世帯に対する町の対応と支援策は。	
9月 7日(月) 4名 8日(火) 3名							